



# たまねぎ



発行日：令和8年7月7日

## 1. 卸売価格の動向

○150 円/kg（7月4日）

➢ 平年比：102%

○7月の価格見通し

平年を下回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

## 2. 小売価格の動向

○290 円/kg

（6月12日全国平均）

➢ 前月比：66%、平年比：94%

➢ 東京：267 円（3玉）

➢ 大阪：295 円（3玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：9/20（前月7/20）

➢ 大阪：6/10（前月3/10）

（機構調べ）

## 3. 家計消費動向

○488g/人（5月全国平均）

➢ 前月比：106%

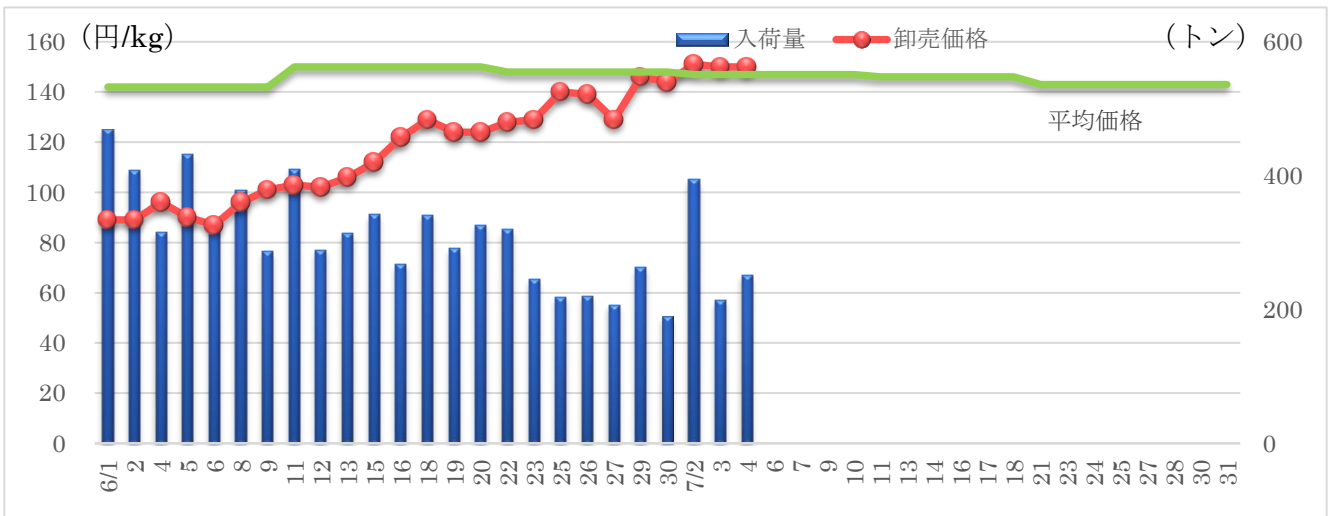
➢ 前年同月比：105%

○5,007g/人（2025年年間）

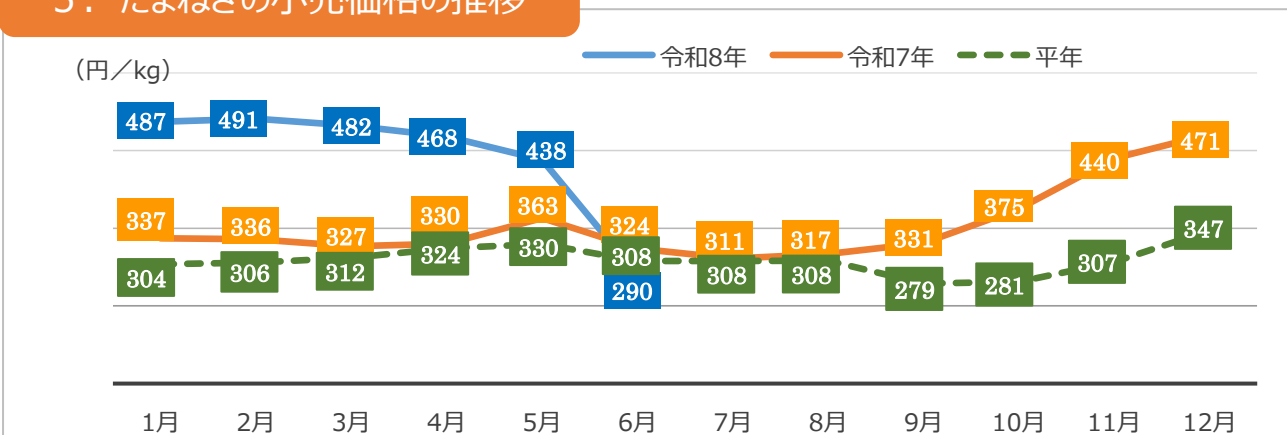
➢ 前年比：97%

（総務省統計局家計調査）

## 4. たまねぎの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



## 5. たまねぎの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道岩見沢市 (5/21)	前年並み	やや良	早い	-
愛知県碧南市 (5/12)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (6/3)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
香川県豊南 (5/20)	増加	平年並み	早い	早い
愛媛県西条市 (5/20)	やや減少	平年並み	平年並み	平年並み
佐賀県白石 (6/4)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



兵庫県淡路島：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/4~7/31)

週別の天候				
7/4~7/10	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。			
7/11~7/17	北・東・西日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
7/18~7/31	北日本では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少40 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮たまねぎ)

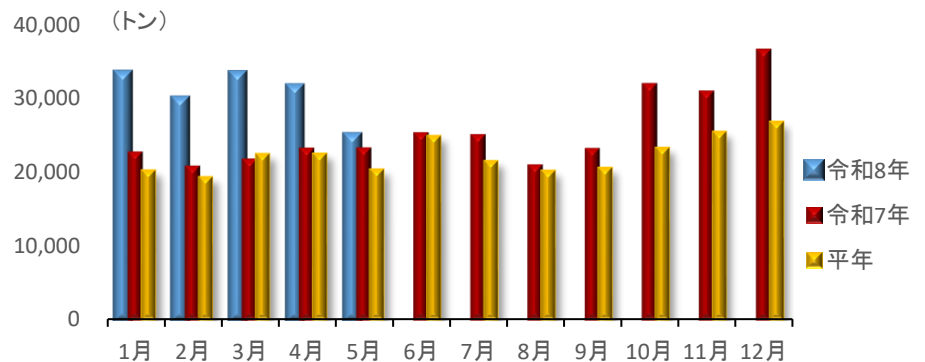
○24,863 t (5月輸入量)

➤ 前年同月比：107%

○輸入先国ベスト3

- 1位 中国 22,539 トン
- 2位 ニュージーランド 1,911 トン
- 3位 豪州 412 トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

6月は、兵庫・佐賀産主体の出荷で、早生品種から中生品種の切り替わりとなった。佐賀産の出荷ピークが過ぎて入荷量が減少したことから、旬を追うごとに価格は上昇したが、月を通して平年を下回って推移した。

7月は、兵庫・佐賀産主体で、北海道産も生育順調で、後半から出荷が開始される。出荷量は平年を上回り、価格は平年を下回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜業務部 管理業務課